

平成 29 年 6 月 27 日
総合政策局国際政策課
海外プロジェクト推進課
自動車局技術政策課

G7 交通大臣会合大臣宣言を採択！！（質の高いインフラ投資と自動運転について）

～石井国土交通大臣がイタリア・カリアリで開催されたG7交通大臣会合に出席～

G7 交通大臣会合が、平成 29 年 6 月 21 日（水）・22 日（木）にイタリア・カリアリにおいて開催され、石井国土交通大臣が出席しました。

今回の会合は「インフラの社会的価値の再発見」のテーマの下、3 つのセッションで議論され、質の高いインフラ投資や、自動運転技術開発の促進等を盛り込んだ大臣宣言（別添）が発表されました。

1. 日 程 : 平成 29 年 6 月 21 日（水）～22 日（木）
2. 場 所 : イタリア・カリアリ（サルデーニャ島）
3. テー マ : 「インフラの社会的価値の再発見」
4. 参加国等 : 日本、カナダ、フランス、ドイツ、イタリア、英国、米国、EU
5. 参加者 : ・イタリア：グラツィアーノ・デルリオ インフラ運輸大臣（議長国）
・カナダ：マーク・ガルノー 運輸大臣
・フランス：フランソワ・プーパール インフラ・交通・海洋総局長
・ドイツ：アレクサンダー・ドブリント 連邦交通・デジタルインフラ大臣
・日本：石井啓一 国土交通大臣
・英国：クリス・グレイリング 運輸大臣
・米国：イレーン・チャオ 運輸長官
・EU：ヴィオレタ・ブルツ 欧州委員会運輸担当委員



日程及び概要の詳細は別紙のとおり。

【問い合わせ先】

国土交通省 総合政策局 国際政策課：地主、竹内、小林

電話：03-5253-8111（内線 25753、25715）03-5253-8313（夜間直通）03-5253-1561（Fax）

国土交通省 総合政策局 海外プロジェクト推進課：福島、宮沢

電話：03-5253-8111（内線 25807、25816）03-5253-8315（夜間直通）03-5253-1562（Fax）

国土交通省 自動車局 技術政策課：多田、浜野

電話：03-5253-8111（内線 42252、42253）03-5253-8592（夜間直通）03-5253-1640（Fax）

1. 日 程

(1) 6月21日(水)

- ・バイ会談(日伊、日米、日EU)
- ・歓迎夕食会

(2) 6月22日(木)

- ・オープニングスピーチ
- ・セッション1 -インフラの社会的役割-
- ・セッション2 -インフラの経験共有-
- ・大臣昼食会
- ・セッション3 -自動運転-
- ・大臣宣言採択
- ・議長記者会見
- ・写真撮影・自転車試乗
- ・公式晩餐会
- ・バイ会談(日英、日独、日加)

2. 結果概要

- ・G7キャリア交通大臣会合は、G7の交通大臣及びEUの交通担当委員が一堂に会し、今後の交通、ひいては社会全体を左右する重要なテーマを取り上げ、大きな方向性を議論するものです。
- ・G7交通大臣会合は、昨年長野県・軽井沢にて第2回が開催され、今回のG7キャリア交通大臣会合は第3回目となります。
- ・キャリア交通大臣会合では、「インフラの社会的価値の再発見」をテーマに、3つのセッションにおいて議論を行いました。

(1) セッション

主な議題と結果は以下のとおりです。

①セッション1 -インフラの社会的役割-

- ・インフラ整備が雇用の創出、生活の質の向上等にとって重要な役割を果たすことについて各国から言及がありました。
- ・各国から経済成長のためにはインフラへの投資が重要であり、その際には民間資金の活用も重要であることが強調されました。
- ・我が国からも、持続的な経済成長を支えられるよう、社会資本のストック効果を重視しながら、経済規模に見合う公共投資を安定的・持続的に確保することの重要性を強調し、それらの内容が大臣宣言文に反映されました。

- ・ 社会資本の老朽化対策が先進国に共通する重要な課題であることを踏まえ、老朽化対策に関する各国の先進的な取組等を情報共有する場の設置について提案し、インフラプロジェクトの実施における革新的なアイデアやベストプラクティスを共有するためにインフラ整備に関するワーキンググループを立ち上げることが大臣宣言文に反映されました。

②セッション2 -インフラの経験共有-

- ・ 我が国からはインフラのベストプラクティスとして、ICT等の新技術を活用した生産性革命の取り組み（ビッグデータを活用したピンポイント渋滞対策、交通安全対策、i-Construction、インフラメンテナンス革命）について紹介しました。
- ・ 各国からは道路事業において計画段階からステークホルダーが関与することで環境への配慮が可能となった事例、特定の道路における渋滞税の導入等ダイナミックな料金変動の施策により渋滞解消した事例、インフラ整備への3次元データの活用事例、障害者が健常者と同じ目線で話をするのが可能となるデザインを用いた車いすの事例等が紹介されました。

③セッション3 -自動運転-

- ・ より高度（レベル3，レベル4）な自動運転技術の有人下での実用化に向けて、国連の自動車基準調和世界フォーラム（WP29）における国際的なレベルでの協力を目指すことを提案し、大臣宣言文に反映されました。
- ・ 実証実験をはじめとした我が国の自動運転の実現に係る具体的な取り組みを紹介し、各国と認識を共有し、自動運転に関するワーキンググループにおいて自動運転のベストプラクティス、研究活動やデータについて情報交換することが大臣宣言文に反映されました。
- ・ その他、サイバーセキュリティやデータ保護、自動運転の社会的受容性の醸成について指摘し、それらの内容が大臣宣言文に反映されました。

(2) 二国会談

①日伊バイ会談

- ・ 6月21日、石井国土交通大臣は、イタリア・デルリオ大臣とのバイ会談を実施しました。
- ・ 会談では、同国と昨年、日伊国交150周年の節目を迎えたことを踏まえ、我が国企業による投資の進展など、両国関係の連携強化を確認しました。

②日米バイ会談

- ・ 6月21日、石井国土交通大臣は、米国・チャオ長官とのバイ会談を実施しました。
- ・ 会談では、インフラ整備やインフラの老朽化対策、米国での高速鉄道プロジェクトの状況などについて意見を交換し、交通分野での幅広い連携強化を確認しました。

③日EUバイ会談

- ・ 6月21日、石井国土交通大臣は、EU・ブルツ欧州委員とのバイ会談を実施しました。
- ・ 会談では、我が国とEUの航空安全協定や、国際海運の地球温暖化対策、自動運転等について議論し、今後の緊密な協力関係の強化を確認しました。

④日英バイ会談

- ・ 6月22日、石井国土交通大臣は、英国・グレイリング大臣とのバイ会談を実施しました。
- ・ 会談では、HS2など英国の高速鉄道プロジェクト等を中心に議論を進めたほか、Brexitにより我が国企業の活動に支障がないよう要請しました。

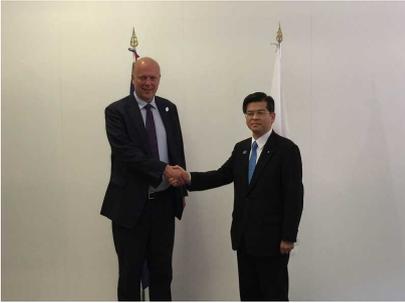
⑤日独バイ会談

- ・ 6月22日、石井国土交通大臣は、ドイツ・ドブリント大臣とのバイ会談を実施しました。
- ・ 会談では、5月に改正されたドイツの道路交通法による自動運転に関する法整備や、自動運転車の技術について意見を交換しました。

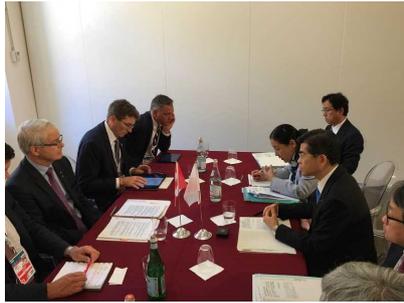
⑥日加バイ会談

- ・ 6月22日、石井国土交通大臣は、カナダ・ガルノー大臣とのバイ会談を実施しました。
- ・ 会談では、航空の安全に関する相互承認協定（BASA）の整備分野への適用拡大や、LNGバンカリングを中心に議論を進め、今後も両国の協力関係を強化していくこととしました。

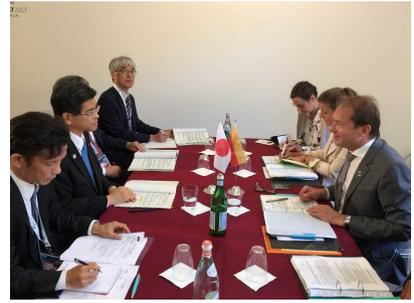
【写真】



英バイ会談



カナダバイ会談



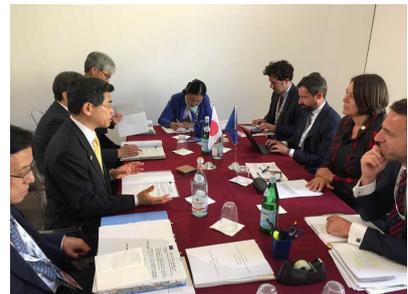
ドイツバイ会談



イタリアバイ会談



米バイ会談



EUバイ会談



セッションの様子



フォトセッション会場からの移動船